

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容を P R!!!

- サービス向上への 3 ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム四葉のクローバー

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏 名

上西 光宣

評価完了日

平成 19 年 7 月 10 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念として、四葉のクローバーの花言葉である健康・愛情・幸福・希望を掲げ、それに近づける様日々努力している。		今後は、運営推進会議等で地域の方に当施設の理念をご理解いただけるよう取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			現在、利用者、ご家族、職員の健康・愛情・幸福・希望を目指す理念が作られている。		今後も、地域性や地域のニーズをさらに探りながら、地域の中の公的介護サービス事業所として、目指していくことについて話し合っていけることが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			朝礼、月1回開催しているリーダーミーティング、各ユニットミーティングにて、スタッフ間で共有する為の取り組みをしている。又、理念に掲げている健康に関しては、食事内容・リハビリ体操・散歩等に取り組んでいる。		健康以外の理念に関しても実践に向けて取り組んでいます。より良いケアができるようユニットミーティング等で話し合っていきたい。
			(外部評価)		
			法人代表者、管理者は、職員の集まる機会やケアに取り組む際、理念に基づきお話されている。又、理念が記されたカードを職員は携帯し、意識を高めておられる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入所に関しては契約時に理念の説明等を詳しく説明している。来所された方には、自由に手に取って見て頂けるよう入口にファイルを用意している。また御家族様には毎月の手紙、年4回のホーム便り等をお送りして理解して頂けるように取り組んでいる。		今後は運営推進会議の中で、地域住民・民生委員・地域役員の方々に当ホームの理念を御理解頂けるよう説明し、交流が持てるように取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)		
			利用者様との毎日の散歩や外出時に積極的に挨拶する様努めている。最近では顔も覚えていただき近隣の方から挨拶をして頂けるようになった。		気軽に立ち寄って頂ける様、今後も地域の方々に挨拶などを続けていきます。運営推進会議を通じて、ホームのことを知って頂き、緊急時、災害時等に御協力頂ける関係を築いて行きたい。
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)		
			地域の祭り等に、御利用者様と共に参加している。		地域の活動に参加できるように、情報を頂いたり、近くの公園で行なっている、ゲートボールなどを見に行ったりと、今後取り組んで行きたい。
			(外部評価)		
			近くの溝掃除を自主的にされている。高校生や大学生のボランティアの受け入れをされている。地域行事には積極的に参加をされている。		さらに今後、盆踊りや秋祭り等、地域の方達とかかわる機会を活かし、関係性を深めていけるような取り組みが期待される。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)		
			特に取り組んでいない。		スタッフの「介護力」を生かした、ケアセミナー等を開催出来れば、地域の方に当ホームを知って頂けるきっかけになると思う。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)		
			月例のミーティング時には全項目の結果について振り返り、改善に取り組んでいる。		一項目ずつ改善に向けた話し合いをし、より良いサービスが出来るよう、評価の結果を活かしている。
			(外部評価)		
			職員個々で自己評価に取り組むユニット長がまとめられた。職員は、自己評価作成時、利用者主体のケアの大切さを感じておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			第1回目を5月21日に開催している。初回であるが活発な意見交換が出来たので今後の取り組みに活かして行きたい。		第1回の会議の内容を踏まえて、ホームの在り方について考えていきたい。
			(外部評価)		
			5月に1回目の会議を開催された。事業所の行事報告やご家族、民生委員の方からもケア等についての質問があり、法人代表者が答えられた。		事業所では、さらに地域に密着した事業所を目指していきたいと考えておられる。運営推進会議を活かし、事業所のさらなるサービスの向上につなげていかれることが期待される。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			主として施設長が取り組んでいる。		施設長より報告を受け、ユニットミーティング等で話し合っている。機会があれば、職員も直接市役所に出向き話を聞けると良いと思う。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターの会合等にも参加されている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			ユニットミーティングにて施設より説明を受け勉強している。講師を招いた勉強会でも制度の説明を受けている。利用者様・家族様に説明する場合のポイントなども理解している。		現在、この制度を御利用されている方は居られない。今後御希望があれば、支援していく。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待に関するニュースが報道された際はその件につき必ず話し合い内容の把握・防止に努めている。日々の言葉使い・介護等についても細心の注意をはらっている。		言葉使いや介護等についてもミーティングで話し合い虐待の防止に努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長を含め複数の職員で、利用者様・家族様へ十分説明し理解・納得を得ている。		内容については全職員が把握し説明できるようにミーティング等で勉強している。
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様からの意見・不満・苦情等に関しては主に施設長が対応している。その内容に関してはミーティング等で議題に上げ運営に反映させている。		利用者様からは日々の生活の中でコミュニケーションを図りながら意見・不満・苦情等を聞いている。面会に来られた家族様等が気軽に意見・不満・苦情等を話して頂ける関係を作っている。
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月、利用者様の暮らしぶりや健康状態・金銭管理等に関して報告している。特にメッセージカードや外出時の写真等は好評である。また、季節毎に年4回ホーム便りも発行している。緊急を要する場合等は家族様に随時報告・連絡・相談をしている。		月次のメッセージカードやホーム便りの内容をもっと充実させていきたい。
			(外部評価) 利用者からの預かり金については、毎月、通帳や領収書、レシートのコピーと出納帳をご家族に送付し、報告をされている。		
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族様等からの意見・不満・苦情は主に施設長が対応している。現場での対応は担当スタッフが行なっている。内容を全職員が把握するためミーティング等で議題に上げ運営に反映させている。		意見・不満・苦情に関するものは迅速に対応するよう心がけて行きたい。
			(外部評価) 現在、ご家族の来訪時等に直接ご家族から意見をいただけており、改善に努めておられる。運営推進会議時、言いにくいようだったら、目安箱の利用や外部に報告していただけるよう話しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の朝礼や月次のリーダーミーティング・ユニットミーティング時に意見を出し合っている。光熱費等経理に関しても施設長より話があり、日々節約するきっかけになっている。入居される利用者様についてもユニットの受け入れ等に関して意見が言える。		運営に関して職員の意見や提案を反映させて行きたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 外出時や通院等人員が必要な時には、随時人員確保している。緊急時などは施設長が判断し、勤務時間の延長をしたり、柔軟に対応し、職員も応じている。		一定の職員に負担がかからないように調整をお願いしたい。スタッフ間でも助け合っていきたい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動は最小限に抑えられており、利用者様へのダメージを防ぐ配慮をしている。		馴染みの職員ばかりなので、慣れすぎているところもあり、気をつけたい。突然の離職等がない様、管理者へ相談できるようにしている。
			(外部評価) 法人代表者や管理者は、職員とゆっくり話すような時間を作っておられ、離職を抑えられるよう取り組まれている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会等の情報は回覧されている。希望者は事前に希望を提出し、参加している。今後は希望者のみならず全員が参加できる取り組みをしている。		今後も研修会の情報を伝えて頂けるようお願いしたい。研修の内容は、ユニットミーティング等で報告し、資料は自由に読める様に回覧されている。
			(外部評価) 新人職員は、他企業の接遇研修を受講されている。外部研修を受講する機会は多く提供されており、職員それぞれが受講され、事業所内で周知されている。		さらに、今後、職員からも研修の希望等を挙げていくような取り組みが期待される。事業所同士の相互訪問等も職員の希望に沿って、すすめてみられてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	(自己評価)		
			回数は少ないが、他事業所の勉強会に参加したり、講 師を招いて勉強会を開いている。		今後は交流の機会を持ち、ネットワークができるよう 期待したい。
			(外部評価)		
		事業所の見学に行かれたり、又、受け入れ等もされて いる。又、法人代表者は、多方面の方達とのネット ワークから事業所の研修時の講師等も依頼されてい る。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	(自己評価)		
			忘年会、花見などでスタッフの親睦会を行い、話し合 えるようにしている。特に問題があれば臨時のユニッ トミーティングでスタッフの意見交換も行っており、 改善できている。		業務中の休憩時間について今後検討して頂きたい。今後 も職員のストレスが敏感に対応出来るよう皆で話し合 える臨時のミーティングを開催できるようにお願いし たい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組 み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者は向上心が持てる職場環境作りに努め、スタッ フは期待に応えられるよう努力している。		ユニットミーティングにおいても向上心が持てるよう 勉強会を開きたい。勉強会のテーマも施設長からの一 方的なものでなく、職員からの希望が出るようなミー ティングにしていきたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困って いること、不安なこと、求めていること等 を本人自身からよく聴く機会をつくり、受 けとめる努力をしている	(自己評価)		
			相談から利用に至るまでは、本人様・家族様等と複数 回の面談を行い信頼が持てる人間関係を築けるよう努 力している。		アセスメントで得た情報は全スタッフが把握し、安心 して生活して頂けるように入居体制を取っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から利用に至るまでは、本人様・家族様等と複数回の面談を行い信頼が持てる人間関係を築けるよう努力している。		アセスメントで得た情報は全スタッフが把握し、安心して生活して頂けるように入居体制を取っている。
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前に複数回の面談を行いアセスメントを作成している。入居後は利用者様の残存能力を見極める為に、スタッフが情報を共有し支援している。健康管理については、医療機関と連携し行っている。		家族様からの細かい情報を聞き出せるよう、良い関係を作っていきたい。その上で全スタッフが情報を共有できるように、随時カンファレンスを行ないたい。
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 複数回の面談で得たアセスメント情報を全職員が把握し、同じ方向性で対応できるよう支援している。家族様には近況を随時報告し、御希望等をお伺いしている。 (外部評価) 事業所を利用される方のご自宅を訪問される等、入居前から関係性を作れるよう取り組まれている。		今後も、きめ細やかなケアで支援できるよう、一人ひとりの様子を観察しながら、生活に馴染めるよう工夫したい。しかし、スタッフ側からの一方的なサービスにならないよう十分に配慮し、慢心しないようにしたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食器拭き、テーブル拭き、洗濯物畳み等、役割を持って頂けるように支援している。食事・おやつ等の時間には利用者様の経験された習慣や風習をお聞きすることもある。 (外部評価) 利用者の状態のこともあり、ケアを提供するような場面が多い。		利用者様の昔のお話などをもっと聞かせて頂けるように、コミュニケーション力を勉強したい。 さらに、利用者と職員が共に過ごす中で、ご本人から学んだり支えあう関係を築いていかれる取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会に来られた時には、近況をできるだけ具体的に報告し、要望・意見等があれば伺っている。また遠方の家族様には、3ヶ月毎のケアプラン更新時に必ず訪ねて頂くようご連絡を取っている。		面会時等には一緒にお茶を飲んだり散歩したりする事で本人の現在の状態を把握していただく様にしている。その事を踏まえ職員と今後の対応について話し合いをもっている。
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ケアプランの内容に本人様・家族様の要望・意見等を取り入れ、本人様と家族様のより良い関係に努めている。遠方で面会回数の少ない家族様にはメッセ・ジカ・ドや電話等で近況等ご報告している。		ホ・ムの行事(バ・ベキュ・、そうめん流し)には、本人様・家族様等に参加して頂き、より良い関係を築く支援をしている。今後はお誕生日会の参加も検討したい。
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ホ・ムの生活が主になり、訪ねて来られるのを待っている状態である。お仏壇を居室に置かれたり、宗教の関係者が訪問されたりする方はおられるが積極的な関わりはない。		良い思い出のある場所等ご本人にとって大変楽しい場所なので、年に数回お連れする事ができれば良いと思う。家族様の協力も得たい。
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者様同士で歓談されたり、食器を下膳されたりしての助けあいの場面もみられるようになってきた。新しく入居された方に、生活全般に関してアドバイスしたりする光景もある。入居者様同士で相性の悪い方もおられる。スタッフはトラブル等ないように支援している。		その場の雰囲気を知り、適切に支援したい。トラブルのないよう食事の席の配置も考えたい。
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院・転居された時には施設長やスタッフ等が訪問・お見舞いに行き関係を断ち切らないようにしている。退居後も、継続的な関わりを持つために家族様・担当ケアマネ・ジャ・等と情報の交換をしている。		退居された後も転居先に定期的に訪問し、継続的な関わりを持つようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			基本的に3ヶ月に1回サ - ビス担当者会議を行い、本人様・家族様等の意見・要望等を伺っている。必要の場合は随時月次ミーティングで話し合っている。コミュニケーション困難な方については、日々の生活の場面のご様子から推察し、家族様と相談の上対応している。		外出・外食をする場合は、ご本人の意見をお伺いしてから計画するようにしている。但し、暮らし方の希望・意向については検討の必要がある。
			(外部評価)		
			入居時、ご家族等から情報収集をされている。		さらに今後、日々、利用者やご家族から得た情報を蓄積していけるような、アセスメントカードの書式を作成することを検討されている。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			アセスメントを読み把握に努めているが、今までの生活を切り離して「ホームでの生活」を重視しているように思う。		ご本人のこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等の把握に努め、新しい環境に馴染めるよう気配りしたい。家族様からの情報等もスタッフ全員が共有できるように、日誌・日報・申し送りノート等の情報を活用したい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日誌に細かく記載し、スタッフ全員が把握できるようにしている。日々の申し送りや、ユニットミーティングで話し合い、スタッフ全員が共有できるよう努めている。		お一人、お一人の過ごし方が現状のままで良いのか、スタッフ全員で考えを深めて対応したい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の作成・更新時には、本人様・家族様等の意向をお伺いしているが、”特にありません”今のままでいいです”のご返答が多い。スタッフ間は朝礼、ユニットミーティング、カンファレンス等随時話し合いが持たれている。健康管理に関しては、医師に指示を頂いている。		本人様・家族様に介護計画に関してもう少し関心を持って頂けるよう対応したい。他のユニットのアイデアも参考にして介護計画を作成したい。
			(外部評価)		
			ご家族、ご本人の希望要望をお聴きして、職員で話し合い介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			3ヶ月に1回サ - ビス担当者会議を開催し見直しをして いる。必要な場合には介護計画の見直しを随時対応し ている。		本人様・家族様の要望に添った計画を作れるように対 応していく。
			(外部評価)		
		3ヶ月に1回の見直しをされている。又、退院、ご家族 から要望のある時等に見直しをされている。医師の助 言等も踏まえた見直しとなっている。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別 記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の 見直しに活かしている。毎日の朝礼や引継ぎ等にも活 用し実践できるようにしている。		日誌の記録内容を充実していきたい。(様子、会話等 具体的に)ケアプランの内容に沿った記載をしていき たい。
			(外部評価)		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			現状では多機能性を活かした支援はできていない。		今後は多機能性を活かした柔軟な支援をしていき たい。
			(外部評価)		
		マッサージ等も採り入れられている。系列事業所との 交流もある。			

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 大正琴等のボランティアを施設に招き演奏して頂いた。楽しめた方もいたが全員が同じ趣味ではなかった。災害時を考え、消防署の消防訓練・地震訓練等をお願いしている。		今後は県・市のボランティア活動や地域の活動を通じて協力いただけるよう働きかけたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人様の意向や必要性に応じて、マッサージ等のサービスを利用している。現場職員やケアマネジャーがその対応をしている。		必要であれば本人様の意向や必要性に応じて、他のサービス利用も支援していきたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターとは、現状数ヶ月に一回のミーティングなので協働は出来ていない。		今後は、運営推進会議を重ねることにより地域包括センターとの協働を図って行きたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 月2回程度、定期的に往診を受けて健康管理の支援を受けている。往診以外にも必要であれば適宜医療行為を受けることが出来る。又、ご家族様の希望により他の医療機関への紹介や通院も出来る。尚、主治医より24時間体制の適切な医療体制を受けられる。 (外部評価) 調査訪問時、かかりつけ医にて健康診断が順次行われていた。		緊急対応も含め、医療機関との連携をより深めて行きたい。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい専門医と良好な関係を築けており、定期的な受診や必要に応じた往診等を受けている。家族様等にも必要に応じた説明や相談を受けられる。		カンファレンス等で疑問に思っている事をお伺いする機会があれば、今後の支援の参考になると思う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職とは日常的に相談している。 月例のユニットミーティングに看護職が参加し医療的な知識について、資料を用意しスタッフ全員で勉強会を行っている。		今後も連携をとり、よりよい支援に活用したい。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 主に施設長・看護職が中心に連携をとって情報交換している。施設長からの指示があればスタッフも病院を訪れ本人様の様子を確認し早期退院に向けた連携に努めている。		退院後も安心して暮らす事が出来る様、医療機関との連携を深めて行きたい。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 主に施設長・看護職が主となって対応している。医療機関・主治医・家族様・スタッフと早い段階での情報交換をし、全員で方針を共有している。 (外部評価) 入居時に看取りや重度化のことについて、お話をされている。又、医療が必要になった時等にもご家族と話し合われている。看取りの経験をされている事業所の代表を研修の講師に招き、ケアについて勉強をされている。		今後も医療機関・主治医・家族様・スタッフと連携し、利用者様の状況把握に努め、適切な対応ができるように支援する。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 定期往診の際に報告・連絡・相談をしている。24時間体制にて医師の指示を仰いでいる。 ユニットミーティング時に今後の変化に備えて検討や準備を行っている。		今後もかかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んで行きたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人様が他へ移られる場合は、主治医・家族様・担当職員等と話し合いを持ち情報交換を行っている。主治医の意見書や施設の情報提供書等により、利用者様が転居後もダメージを受けない取り組みをしている。		今後も利用者様が転居後にダメージを受けない取り組みに努めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応に努めているが不十分である。声掛けに関しても職員本位になっている場面がある。個人情報に関しては取り扱いに十分配慮し対応している。		利用者様に対する言葉掛けや対応など、全職員が初心に立ち返って対応していきたい。日々の支援の中で職員同士が言葉掛けや対応等に関して、お互いにチェックし改善できるように取り組みたい。
			(外部評価)		
			個人記録等の扱いや記録の内容等、利用者個々のプライバシーに配慮されていた。		事業所では、職員の利用者に対する言葉かけや対応について、さらに細やかに配慮していきたいと考えておられた。
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			居室にて個別にお話を伺ったり、筆談にてご本人の意思を確認したりと働きかけに努力はしているが、十分できているとは思わない。		利用者様からの希望の表出や自己決定を引き出すために個人との対話に重点をおき、コミュニケーションを深めたり信頼関係を築けるよう努めていきたい。
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			職員側の決まりや都合を優先する事が多く利用者様の希望に沿った支援は出来ていない。レクリエーション等も、スタッフ側からの提案が多い。外出に関しては利用者様の意見を取り入れるようにしている。		利用者様から日々の暮らしの中での要望や希望・提案が出るよう支援をしたい。又要望や希望・提案が表出できない方でもその人らしい生活が出来るよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			一日のスケジュールが職員のペースになりがちとなっている。		さらに、利用者個々が事業所でどのように暮らしたいかということを探り、利用者主体の生活を支援できるよう、取り組まれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人らしい身だしなみを心がけている。利用者様の希望により、訪問理美容・なじみの美容院を利用し、おしゃれを楽しまれている。また、同じような服装にならないよう支援している。スタッフが切っている方もおられる。		その人らしい身だしなみやおしゃれが楽しめるよう家族様と協力しながら支援していきたい。季節に合った衣服の調整等は、利用者様と相談しながら支援していきたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者様の希望を聞き献立を考えている。旬の物を取り入れたり行事に合わせたメニューにしている。食事の形体は、ミキサーを利用したり、刻食・軟飯等工夫している。食器拭き、テーブル拭き、箸の配膳、下膳等、出来る事はして頂いている。 (外部評価) 配食サービスを利用されているが、週に3回は事業所で利用者の希望等も聴きながら調理をされている。配膳や下膳をされている方やテーブルを拭いておられる方もおられた。		利用者様が出来る事は、今後も自主的にお手伝いして頂けるよう支援していきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲物やおやつに関しては利用者様の嗜好に合わせた対応を心掛けている。タバコに関しては管理上の問題があるので所定の場所での喫煙をお願いしている。お酒に関しては行事や誕生会等に飲酒の機会を設けている。		嗜好品に関して利用者様の体調・病状等を考慮し、その人に合った楽しみが見つけれるよう支援したい。
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 全員の方が終日トイレにて排泄され、利用者様の能力に応じた見守り、一部介助の支援が行われている。夜間の排泄支援も状態に応じた対応がなされ、御本人の希望に応じている。		排泄チェック表を活用して、利用者様に合った支援が適切に行えるよう取り組みをしていきたい。御自分で行かれている方についても、安全に配慮した支援をしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			まず、利用者様の安全を第一に考えている為、職員の勤務状況や配置等を考慮し、曜日や時間を決めている。但し、入居者様の体調や希望により柔軟な対応をすることもある。入浴の順番や、湯舟に入っている時間等は本人様の希望を取り入れるようにしている。		今後も事故のない様に見守りしながら、くつろいで頂ける時間にしたい。
			(外部評価)		
			現在は、曜日や時間帯を決めて、その中で利用者の体調等を踏まえて声かけをされている。		さらに今後、夏場に向けて夜間寝る前に、シャワーの利用や日曜日にも入浴できること等を検討されている。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			その日の体調・精神状態に応じた日常生活が送れるよう支援している。昼寝をされたい方、夜更かしをされたい方等本人様の要望を聞き入れた支援をしている。		今後も利用者様が安心して生活できるよう支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			体操・リハビリ運動・カラオケ・散歩・外出等全員一緒にの支援も多い。一人ひとりの支援は、本人様の残存能力に合わせて、洗濯物たたみ・食器拭き・調理の下ごしらえ・テーブル拭き・カーテンの開け閉め・居室の掃除・日めくり管理等の役割分担をして頂いている。		利用者様が、自発的に役割を持って頂けるようスタッフ間で話し合い、楽しみ事を増やしていきたい。
			(外部評価)		
			入居前からされていたグランドゴルフを入居後も続けておられる方がいる。大型テレビで時代劇を観ることを楽しみにされている方もおられる。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族様や保証人様の希望によりお金の管理は職員が担当させていただいている。スタッフと一緒に外出・買物時には利用者様の希望によりお金を使えるように支援している。		家族様や保証人様と相談し、利用者様が一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日は、利用者様の体調に合わせて、午前午後に分けて散歩している。又、月に数回程度は全員で行楽に出掛けている。外出先に関しては利用者様の希望に沿うようにしている。 (外部評価) 車を使つての外出や日々の散歩、買い物等に出かけておられる。共用空間には外出時の写真が飾られ、その時の思い出を話しておられる方もうかがえた。		散歩の途中、近所の方と挨拶や会話を交わしたりと良い刺激にもなっている。健康管理・体調維持・近隣との交流の為に散歩は今後も続けて行きたい。
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) スタッフと利用者様が一緒に行事計画をたて、外食・ドライブ・花見・観劇等出かける機会を作っている。家族様にはその都度声掛けしているが調整等が難しく参加希望は無かった。		今後は家族様にも御協力いただけるような取り組みをしていきたい。
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月、居室担当者が家族様への近況報告を作成するとき本人様に添え書きして頂く様にしている。又、家族様よりお便り等届いた時には、本人様に読んで頂いたり、代読したりしている。電話に関しては対応できる方は活用されている。		毎月の近況報告には出来るだけ沢山の内容を本人様が書く事が出来るよう支援したい。
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族様・友人・知人等の訪問は頻繁にあり、何時でも訪問して頂ける様にしている。家族様には職員が近況報告をしている。居室で一緒にお茶を飲んだり会話を楽しんだり居心地良く過ごして頂くよう心掛けている。		訪問頻度の少ない家族様に対しても今まで以上に来て頂ける取り組みをしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ユニットミ - ティングの際には資料に基づいてスタッフ全員が勉強し、取り組んでいる。しかし、日常生活の中での言葉掛けにおいて拘束的な言葉遣いはあると思う。		身体拘束に関しては、全職員の理解は進んでいるが、言葉遣い・声掛けに関しては拘束的な言葉遣いがあるため職員同士でチェックし合えるようにしていきたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 運営者及び全ての職員が鍵をかけることの弊害をよく理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。居室は終日鍵をかけることはなく玄関も7時から21時まででは開放している。 (外部評価) 玄関には鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。玄関先には、ベンチが設置されている。		施錠しない事の弊害を考え、安全性には十分配慮していきたい。帰宅願望や外出願望の強い利用者様はその都度同行し、精神的な落ち着きを取り戻していただくように心掛けている。尚、ユニット出入口・玄関にセンサーが無いため職員の十分な見守りが必要である。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室に入る時は、本人様の了解を得よう声かけている。又、暖簾を入口に掛けることでプライバシーの保護に努めている。日中スタッフ間で連携して見守りし安全に努めている。夜間などは安眠を妨げないように巡視し、安全確認している。		利用者様がトイレ使用時にドアが半開きのときがある。職員一人ひとりがプライバシーに配慮した取り組みを行いたい。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 安全性に配慮するために家族様の同意の上で危険な物は事務所で保管管理している。但し、利用者様の状態に応じては居室・共有スペースで 사용되는こともある。		安全のためにお預かりして保管しているが、(取り上げられる)と受け取られる利用者様もおられる。必要時にはスタッフの目の届く所で使用して頂いている。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ユニットミ - ティングにて看護職より指導を受け勉強している。緊急時のマニュアルを作成し、手元に置きいつでも活用できるようにしている。利用者様毎に事例を上げ話し合ったり、シュミレーションをして取り組んでいる。		利用様一人ひとりの健康状態を把握し、事故防止に努めたい。今後もヒヤリハットを活用し大きな事故にならない様、話し合っていきたい。火災等に関する防災訓練も充実させたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ユニットミーティングで全職員が勉強している。事務所に緊急時対策マニュアルを配備し、随時各自で読み直して事故発生時に備えている。		今年一年をかけ全職員が日赤主催の応急処置に関する講習会に参加し、訓練を行っていく。また、講習会に参加した職員は月次ミーティングでその内容を報告し、全職員が水平展開できるように勉強していく。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成し、ユニットミーティング等で勉強している。消防署の点検も終了し、指摘のあったところは改善できた。実践的には訓練は行われていない。 (外部評価) マニュアルを作成して職員で話し合いを行っている。		具体的な避難方法について訓練を定期的に行い緊急時に対応できるように訓練を受ける機会を設けていく。 8月に、系列事業所と合同で地震時の訓練を行う予定となっている。地震体験車が来るようになっている。さらに、その後に火災時の訓練も実施する予定となっていた。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 常にスタッフ間で話し合い施設長に報告し、施設長が家族様に御説明している。又、それぞれの担当スタッフもご面会時家族様に心身の状態を報告し理解を得ている。		今後も全職員が家族様との連携を更に深め、御理解を得られるよう取り組んでいきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々のバイタルチェックや体調の変化等に気を配り速やかに対応が出来るように努めている。異変があれば施設長・看護職に報告し、かかりつけ医の指示を受けている。		朝礼、申し送りスタッフ全員が利用者様の体調の変化や異変などの情報を共有している。今後も情報を共有し、早急な対応に結び付けれるように努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を個人ファイルに綴じ、用法・用量・効能・副作用の把握に努めている。ユニットミーティングでも看護職より薬の説明を受け勉強している。又、変更があった場合は日報、申し送りノートに記録しスタッフ全員が情報共有出来ている。服薬ミスが無いようにマニュアルを作っている。		今後も更に注意して支援していきたい。薬の効能、副作用についても今後より一層の理解を深めたい。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 職員は便秘の原因や及ぼす影響を理解した上で、排便のチェックを毎日実施し、体操・散歩で体を動かす様に取り組んでいる。又水分補給に関しても食事毎・おやつ時・起床時・就寝時・入浴時等に摂って頂いている。便秘に効果のある乳製品や繊維の多い野菜等の摂取に努めている。		薬を増やさず自然に排便出来るよう、トイレ時のタイミング・食事の内容・体操・散歩等、更なる工夫に取り組んで行きたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 歯磨きは、ほとんどの方が、ご自分でされている。磨き残し、口腔内の状態を確認出来ない利用者様もいる。週1回義歯のポリドント洗浄している。口臭の強い方には、口腔内の洗浄液を使って頂いている。訪問歯科診療のドクターより口腔ケアに関する指導を頂くこともある。		磨き残しや仕上げのブラッシング等取り組みが必要である。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量は記録されている。食事に関してもカロリー・計算されている。メニューを作成する際はバランスを考えている。水分確保に関してはその都度必要に応じて摂取していただいている。		自由メニュー・が、週3回に増えた為、栄養バランス、カロリー・等今後の課題だと思う。しかし、旬の物、新鮮な物などを取り入れ工夫している。今後も、利用者様の希望を取り入れながら、食べやすく美味しい食事を提供して行きたい。
			(外部評価) 食事がすすまない方については、主治医に報告し指示を仰ぐようになっている。又、おやつ等間食からも栄養摂取できるよう取り組まれている。一日1500ccの水分摂取に努めておられ、タイミングをみてすすめておられた。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症のマニュアルを作成しており実際に活用もしている。職員全員が情報も共有できており実際に発症した折りには取り決め通りの対応ができた。		今後もマニュアルを徹底し、予防に努めたい。又、早期異常に気付けるよう日頃から観察に努めたい。発症した場合は、速やかに対応できるように努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理用具等は毎日消毒し、衛生管理に努めている。食材も賞味期間内に使用し安全管理に努めている。尚、上記に関する項目はマニュアルを作成し全員が徹底できるようにしている。		調理器具や食材等の管理だけでなく、冷蔵庫・冷凍庫・食器棚等の清掃も定期的に行いたい。尚、冷凍食材の日付チェックも定期的に行いたい。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周り、スロ - プに手すりが設置され、より安全に出掛ける事ができるようになった。庭、フェンスに花が植えてあり、ご近所の方も足を止めて観ていただいている。		玄関にベンチが設置され、安全に靴の履き替えが出来るようになった。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用の空間での日常的な不快な音源や採光は内容に配慮している。リビングテ - ブルには職員が持ち寄った季節の花が飾られ楽しまれている。壁面には直近の外出時写真が掲示され来客者と共に見られている。		夕方には早めに居室の豆電球を点け、転倒等がないように安全対策している。
			(外部評価) 外出先で購入されたタオルを飾っておられた。車椅子の方が使用しやすいように洗面所の改装を計画されていた。又、利用者の状態に応じて、浴室等の手すりも増設されていた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居室で利用者様同士でお話される方はなく皆さんリビングに集まって話される。一人になりたい方は、居室に入られることが多い。リビング、ソファ - で、テレビを観たり、カラオケをされる事が多い。テ - ブルで雑誌、新聞読まれている方もおられ思い思いに過ごされている。		利用者様同士の共通の話題が持てるように職員が話題の提供を支援していきたい。又、居室で長く過ごされる方には上手な声掛けによる誘導も勉強していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	(自己評価)		
			清潔感はあるが、家具はホ - ムの物を使って頂いてい る。仏壇、テレビ等、置かれている方もおられる。居 室スペースに制限があり、思いのままにはなってい ない。		本人様・家族様と更にお話して工夫出来るところがあ れば、取り組んで行きたい。
			(外部評価)		
		ベッドの方や畳の間、マットレスを使用されている方 等、利用者の状態に合わせて対応されていた。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくい う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気については常時適切に行っている。温度・湿度計 も設置しており、エアコン・冬期温風ヒ - タ - 等の使 用も過度にならないようにしている。利用者様の衣服 の調整も気を付けておこなっている。		窓の開閉が出来ない場合(雨・極寒・猛暑等)は必要 に応じて換気扇も使用していく。温度調整だけでなく 湿度調整も行いたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かし、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	(自己評価) 安全面に配慮した整理整頓がなされ、身体機能を活 かす設備も配備されている。昨年にトイレ・浴室・階 段・玄関周りに手すりが増設され、より一層安全に移 動できるようになった。		利用者様が、自立した生活が出来る様、手すり等設備 を上手に使用して支援して行きたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよう に工夫している	(自己評価) 御入居されて日がたてば、なれた環境の中で、混乱無 く生活されている。夜間などトイレの戸を開けて、分 かり易くするなどの配慮をしている。混乱や失敗があ った場合は、職員がフォローできるようにしてい る。		利用者様の様子を観察し混乱や失敗があれば誘導して いきたい。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 気分転換できるように、外庭や屋上にベンチを設置し ている。お茶を飲んだり月見する機会もある。		今後も回数も増やせるよう利用者様の健康状態に合 わせて取り組んでいきたい。

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ②利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	お一人おひとりの思いや、願いがあっても、スタッフが意向を掴む事は難しい場合もある。また、安全面や職員体制により出来ない場合もある。又、ご本人の体力的に難しい場合もある。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	朝10時からのお茶の時間、15時のおやつ時間、昼食の時間等には利用者様とスタッフがテーブルを囲みゆったりと時間を過ごしている。又、夕食後やレクリエーションの時間等にもそれぞれにゆったりと過ごすときもある。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事やお茶の時間は声掛けし皆さんと一緒に召し上がっているが、その時間以外はそれぞれご自由に生活されている。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	カラオケ・外出・散歩・レク・体操等、スタッフと一緒に楽しく参加され笑顔も見られる。自発的な会話も多い。それぞれの楽しみ方を見つけられ、絵を描いたり、手芸をされたり、読書されたりと、生き生き生活されている。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	毎日散歩にはスタッフと一緒に出かけているが、本人様が行きたい所とは、限らない。外出の行き先は利用者様の意見も取り入れスタッフが決めている。外出に関しては、大変喜ばれている。御家族の協力も少なく、お一人、お一人の行きたい所までは難しい。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2週間に一回かかりつけ医の往診を受けている。緊急時には24時間対応できる体制が整っている。その他、希望あれば他の医療機関を受診している。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	お一人おひとりの体調、精神状態などを汲み取り、無理強いせず安心して暮らせている。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ②家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族様が訪問のたびに近況報告をしており、その都度に希望・要望等も伺っている。ケアプラン説明時にはどの家族様とも話し合い、要望等伺っている。遠くに住まれて、年3～4回程しか来られない家族様もあり、もっと密な関わりが出来ように取り組んでいきたい。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③たまに 4 ほとんどない	御家族様以外の交流は少ない。近くのグループホームの方が採れた野菜を持ってこられ、お話しされて帰られる。クリスマス会等に近所のボランティアの方が大正琴の演奏に来られたりと交流があるが頻度でいうと少ない。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 1 大いに増えている 評価) 2 少しずつ増えている 3 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の開催が少ないため、まだ効果は少ない。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 1 1 ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	前向きに生き活き、元気に働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	満足されている方が多いが、スタッフの言葉使い等について苦情をある。 家に帰りたいといわれる方もおられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 2 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	特に希望は聞かれない。 例えば満足していると言われる。 家族様の関心が薄いため反応があまりない場合がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎日午前、午後1日2回の散歩を実施し、利用者様の心身の健康維持に努めている。
 日中健康でめりはりのある生活を送って頂くためリハビリ体操・カラオケ・外出等を楽しんで頂き夜間に十分な睡眠が取れる様心掛けている。
 季節行事も積極的に取り組んでいる。
 日々のバイタルチェック等の変化に注意し、かかりつけ医と連携を取り、24時間体制で健康管理が出来るよう取り組んでいる。
 環境面では、季節に応じて花の植え替えがされ、親しみ易い雰囲気作りに努めている。
 御利用者に安全で気持ち良く生活して頂く為に掃除にも力を入れ、整理整頓に努めている。
 布団干し・シ・ツ交換は、週1回程度実施している。
 感染症等のマニュアルも完備し、スタッフ全員が消毒などの安全に取り組んでいる。
 5月には、四ツ葉と合同で家族様を招いてのバ・ベキュ・大会もあり、この機会を通じて地域の方や、家族様とのコミュニケ・ションを更に深めるきっかけにもなったと思う。